

会 告

■土木学会・その他行事案内■

月 日	行 事	備 考
11月12日(火)	関西支部第6回見学会	11号4ページ参照
11月11日(月)~15日(金)	第2回宅地造成技術講習会(神戸会場)	11号2 "
11月12日(火)~16日(土)	同 上 (東京会場)	11号2 "
11月15日(金)	工事管理講習会	10号3 "
11月15日(金)	中部支部研究発表会	10号6 "
11月15日(金)	中国四国支部第4回見学会	10号11 "
11月15日(金)	日本鉄鋼協会受賞候補申込締切	11号76 "
11月20日(水)	第4回東洋レーヨン科学技術賞締切	9号8 "
11月21日(木)	第2回土木工学系学生のための映画・講演会	11号73 "
11月21日(木)~22日(金)	第2回岩盤力学に関するシンポジウム	11号2 "
11月22日(金)	中部支部第3回見学会(申込締切 11月9日)	11号3 "
11月25日(月)	第10回風に関するシンポジウム	9号5 "
11月27日(水)~28日(木)	関西支部構造工学に関する講習会(申込締切11月11日)	10号9 "
11月28日(木)~30日(土)	第6回溶射技術講習会(申込締切 11月25日)	11号5 "
11月30日(土)	関西支部第12回学生見学会	11号5 "
12月6日(金)	中部支部第1回技術講座(申込締切 11月15日)	11号4 "
12月6日(金)	西部支部新材料・新工法発表会	11号4 "
12月7日(土)	関西支部第13回学生見学会	11号5 "
そ の 他	土木賞のお知らせ 吉田賞のお知らせ RILEM シンポジウム開催	10号綴 込 9号綴 込 11号3ページ参照

コンクリート用語の統一について

土木学会コンクリート委員会
委員長 国 分 正 胤

従来、土木と建築の両方面のコンクリート用語で、全く同じ意味のことを異なって表現しておりました。

たとえば、配合—調合、ウォーカーピリチ—ワーカピリチ、供試体—試験体、等であります。これは不便でもあり、また、非合理的なことでもあると思われまますので、土木、建築両学会のコンクリート委員会で用語統一のための打合わせを始めました。用語は長い歴史を持つ問題でございますので、とりあえず、その状況を会員諸兄にご報告すると同時に、この件に関しご支援とご激励を賜るようお願い申上げる次第でございます。

なお、この問題に関し、ご関心を持たれる諸兄のご意見をお待ちしております。

第24回関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルム ライブラリーと共催の第24回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますので多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

1. 開催日時：1963年11月30日(第5土曜日) 14.30~16.30
2. 会 場：土木学会会議室(東京都新宿区四谷一丁目・外濠公園入口)
3. 上映映画：①セメント・コンクリートを科学する ②文明の岩 ③地底の凱歌

注：今回は都合により第5土曜日となりますのでご注意ください。

第2回岩盤力学に関するシンポジウム開催について

土木学会では、本年4月より岩盤力学委員会（委員長 岡本舜三 東大教授）を設置し、岩盤力学シンポジウムを開催することになりましたので多数ご参加下さるようご案内いたします。

期 日：1963年11月21日（木）、22日（金）

会 場：電力中央研究所会議室（千代田区大手町1の4・大手町ビル7階）

プ ロ グ ラ ム

（21日）

9.00～9.10	開会の辞	土木学会岩盤力学委員会委員長	岡本舜三
9.10～9.50	岩盤の変形特性についての二、三の考察	建設省	岸本貞男
9.50～10.30	不連続な節理面の強度	電研	林正夫
10.30～11.10	岩石切取斜面の崩壊について	道路公団	山根外1
11.10～12.00	討議		
12.00～13.00	昼食		
13.00～13.40	岩盤基礎処理に関するデヴィダーク工法の応用例について	鹿島建設	土居外3
13.40～14.20	四十四田ダムの岩盤処理計画について	建設省	吉井外2
14.20～15.00	討議		
15.00～15.10	休憩		
15.10～15.50	PVC板を利用した止水壁について	四国電力	川瀬外1
15.50～16.30	黒部川第四ダムの基盤内の浸透流の流況に関する実測結果について	関西電力	野瀬外1
16.30～17.10	討議		

（22日）

9.00～9.40	地質力学における基本的問題に関する第14回研究会報告	国鉄	石川豊
9.40～10.20	津軽海峡トンネルの調査について	国鉄	粕谷逸男
10.20～11.00	討議		
11.00～11.40	（特別講演）鉱山界における岩盤力学の近況	東大	鈴木光
11.40～13.00	昼食		
13.00～13.40	（題不明 特別講演）	東大	山口楯太郎
13.40～14.20	大発破における破壊機構	旭化成	名和外1
14.20～15.00	討議		
15.00～15.10	休憩		
15.10～15.50	発破によるトンネルのひずみ測定	神戸大	畑中元弘
15.50～16.30	発破による地盤および建物の振動について	神戸大	畑中元弘
16.30～17.10	討議		
17.10～17.20	閉会の辞	土木学会岩盤力学委員会委員	伊藤剛

注：講演概要については当日会場で頒布しますから、ご必要の方はお買求め下さい。

建設省認定第2回宅地造成技術講習会の開催について

宅地造成等規制法施行令第18条第5号および建設省告示第1291号に基づき、同省の指導要領（昭和38年7月8日、住発第199号、住宅局長より都道府県知事宛の通牒）にしたがって設計者資格認定のため、今般、建設大臣の認定を受け、下記のとおり講習会を開催いたしますので多数ご参加下さい。

主催：土木学会・日本建築学会・日本建築士連合会

後援：東京都・大阪府・兵庫県・日本宅地造成協会・関西宅地経営協会

東京会場

大阪会場

期日：1963年11月12日（火）～16日（土）

期日：1963年11月11日（月）～15日（金）

考査は11月17日（日）10時より

考査は11月16日（土）10時より

会場：九段会館（旧軍人会館）（千代田区九段1の5、国電飯田橋、都電・バス九段下車、考査会場は明治大学91講堂）

会場：兵庫県民生部ホール（神戸市下山手通5丁目、阪神電鉄元町、市電下山手5丁目下車、考査会場は山手小学校）

申込先：社団法人 日本宅地造成協会

申込先：社団法人 関西宅地経営協会

（東京都新宿区四谷3の5・不動産会館5階）電 大代表（362）4181、直通（351）3537 振替口座東京 62584

（大阪市北区梅ヶ枝町106 寿美ビル）電（361）9387

科 目	講 議 内 容 主 な 内 容	講 師 氏 名	
		東 京 会 場	神 戸 会 場
① 応 用 力 学	力、材料の力学、簡単な不静定構造	日本大学教授 工博 榎並 昭	京都大学教授 工博 丹羽 義次
② 一 般 構 造	構造一般、組積造、鉄筋コンクリート造	千葉工業大学教授 羽倉 弘人	京都大学助教授 工博 山田 善一
③ 材 料	材料一般、木材、石材、コンクリート材料、鋼材	横浜国立大学助教授 工博 飯塚五郎蔵	京都大学教授 工博 岡田 清
④ 土 質	土の地質、土の成因と性質、土圧、地盤の力学、土質の調査、試験法	東京大学助教授 工博 渡辺 隆	京都大学教授 工博 松尾新一郎
⑤ 水 理	水の性質、静水圧、水の運動、オリフィス、せき、水路の流れ、土砂の流送、地下水の運動	東京大学教授 工博 嶋 祐之	京都大学教授 工博 岩佐 義明
⑥ 測 量	測量一般、距離測量、平板測量、水準測量、トランシット測量	国土地理院測図部技官 齊藤 隆雄	京都大学助教授 工博 森 忠次
⑦ 都市計画と住宅	法定都市計画、地域、地区、都市施設、住宅の構造と設計、住宅政策	建設省宅地開発課技官 北島 躬照	兵庫県建築課長 宮脇 泰一 大阪府住宅開発課長補佐 寺島 三雄
⑧ 法 規	都市計画法、建築基準法、宅地造成等規制法、新住宅市街地開発法、その他	建設省宅地開発課長補佐 升本 達夫 高橋 茂	建設省宅地開発課長補佐 升本 達夫 高橋 茂
⑨ 計 画 と 経 営	調査と計画、設計、工事管理	工学院大学教授 工博 大庭 常良	工学院大学教授 工博 大庭 常良
⑩ 水 工	上水道一般、下水道、イ調査、口排水計画、ハ流量計算、ニ施設設計	前建設省下水道専門官 水谷 憲爾	前建設省下水道専門官 水谷 憲爾
⑪ 土 工	土工一般、法面工、植栽工	日本住宅公団宅地開発部 山崎 慶一	住宅公団大阪支所工事課長 池田 睦治
⑫ 道 路	調査と計画、設計、路盤と路面、付属施設	建設省道路局専門官 今井 勇	道路公団大阪工務部長 田中 常三
⑬ 擁 壁	石積み造、鉄筋コンクリート造、I型、口反T型、ハ扶壁型、ニ無筋	建研構造室長 工博 大崎 順彦	神戸大学教授 工博 田中 茂
⑭ 施 工	土木機械、工事中の災害防止	日本住宅公団宅地開発部 山崎 慶一	神戸市道路部長 神生 秋夫
⑮ 設 計、製 図	土木建築製図法、宅地造成の設計、擁壁の設計、排水施設の設計	住宅金融公庫第3審査課長 岩間 一郎	神戸大学教授 工博 谷本 喜一

東京会場審査委員氏名

委員 長	工学院大学教授 工博 大庭 常良
委 員	東京大学助教授 工博 渡辺 隆
	建築研究所構造室長 工博 大崎 順彦
	千葉工業大学教授 羽倉 弘人
	建設省宅地開発課長補佐 高橋 茂
	東京都建設二課長 西島 幸次郎

神戸会場審査委員氏名

委員 長	京都大学教授 工博 松尾 新一郎
委 員	神戸大学教授 工博 田中 茂
	建設省宅地開発課長補佐 高橋 茂
	大阪府住宅開発課長 寺島 三雄
	兵庫県建築部建築課長 宮脇 泰一
	神戸市道路部長 神生 秋夫

受講料：3500円 テキスト代 500円 査料は希望者のみ別途 500円

申込締切：両会場とも 11月1日(金)

RILEM シンポジウム開催について

1964年6月ベルギーにおいて「合成材料の建築への利用に関する試験」と題するシンポジウム、また1965年6月にはフィンランドにおいて「建物の湿気の問題」と題するシンポジウムが開かれます。参加ご希望の方がありましたら下記の下記の所へ直接お申し出下さい。そのプログラムの写しをお送り致します。

記

連絡場所：東京都新宿区百人町4-391 電話(362)5497 建設省建築研究所長 平賀謙一氏宛

中 部 支 部 行 事 案 内

(名古屋市中区南外堀町6の1 名古屋市水道局上水道部拡張課内・電 名古屋(94)5511 内線 295)

第 3 回 見 学 会

日 時：1963年11月22日(金)8時30分(晴雨にかかわらず)

見 学 先：名神高速道路関ヶ原工区舗装工事

集 合 場 所：テレビ塔下

行 程：名古屋発(8.40)～関ヶ原着(11.00)～関ヶ原発(14.00)～養老着(14.30)～養老発(15.30)～名古屋着(18.00の予定)

参 加 費：無 料 人 員：110名

申 込 方 法：11月9日(土)までに最寄の幹事または中部支部へ勤務場所、氏名をご連絡下さい。申込多数のときはお断りする場合がありますからあらかじめご了承ください。

第 1 回 技 術 講 座

1. 講 座 名：光弾性学の土木工学への応用
2. 日 時：1963 年 12 月 6 日 (金) 10 時～17 時
3. 場 所：名古屋大学工学部土木工学教室 (名古屋市千種区不老町)
4. 講 師：名古屋大学工学部助教授 工博 川 本 眺 万
5. 定 員：50 名
6. 参 加 費：無 料
7. 申 込 期 限：1963 年 11 月 15 日 (金)
8. 受 講 申 込 方 法：受 講 希 望 者 は、勤 務 先・連 絡 先・氏 名 を 明 記 し て、土 木 学 会 中 部 支 部 へ は が き に て お 申 込 み 下 さ い。申 込 み 多 数 の と き は、お 断 り す る 場 合 も あ り ま す か ら あ ら か じ め ご 了 承 下 さ い。

西 部 支 部 行 事 案 内

(福岡市土手町 6 建設省九州地方建設局 電 福岡 (75) 4331)

新 材 料・新 工 法 発 表 会

1. 日 時：1963 年 12 月 6 日 (金) 9 時～16 時
2. 場 所：福岡市天神町 天神ビル大ホール
3. 発 表：6, 7 件 の 予 定
4. 聴 講 無 料：(資料当日配布)

関 西 支 部 行 事 案 内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番 天王寺ステーションビル 4 階)
電 大阪 (716) 7881 内線 336 振替口座 大阪 82599 番

(1) 第 6 回 見 学 会 (国鉄新幹線軌道工事見学会)

1. 期 日：1963 年 11 月 12 日 (火)
2. 見 学 先：国鉄新幹線軌道工事 (鳥飼基地, 向日町基地, 東山前進基地)
3. 集 合：11 月 12 日 9 時 15 分 まで に 国 鉄 大 阪 駅 西 口
4. 行 程：大阪駅発(9.30)～鳥飼基地見学(10.10)、映画(11.40 発)～向陽モーテル着(12.20)、昼食(12.55 発)～向日町基地見学(13.00～14.00 発)～東山前進基地見学(15.00～16.30 発)～京都駅(17.00)～大阪駅着解散(18.30)
5. 参 加 費：300 円
6. 定 員：100 名
7. 申 込 期 限：1963 年 10 月 30 日 (水)
8. 申 込 方 法：参 加 希 望 者 は 勤 務 先、連 絡 先 お よ び 氏 名 を 明 記 の う え 参 加 費 300 円 (送 金 は 振 替 口 座 利 用) を 添 えて 10 月 30 日 (水) まで に 土 木 学 会 関 西 支 部 へ お 申 込 み 下 さ い。た だ し 申 込 期 限 内 で も 定 員 に 達 し た 時 は 先 着 順 で 決 め ま す か ら 早 く 申 込 ん で 下 さ い。参 加 者 に は 参 加 証 を お 送 り し ま す か ら 当 日 は 必 ら ず ご 持 参 下 さ い。
9. そ の 他：昼食はこちらで用意いたします。

(2) 第 12 回 学 生 見 学 会 (工場見学会)

1. 期 日：1963 年 11 月 30 日 (土)
2. 見 学 先：神 戸 製 鋼 所
3. 参 加 者 資 格：土 木 学 会 学 生 会 員 (た だ し 申 込 期 日 まで に 入 会 手 続 の す ん だ も の お よ び 大 学 院 学 生 の 正 会 員 も 有 効)
4. 集 合：11 月 30 日 12 時 50 分 まで に 国 鉄 灘 駅 南 出 口
5. 行 程：国鉄灘駅発 (13.00)～健保会館着 (13.15)、映画、講演～神戸製鋼所灘浜地区工場 (15.00)、埋立岸壁見学 (16.00 発)～三宮駅着解散(16.30)
6. 参 加 費：50 円
7. 定 員：60 名
8. 申 込 期 限：1963 年 11 月 15 日 (金)
9. 申 込 要 領：参 加 希 望 は 学 校 名 お よ び 氏 名 を 明 記 の う え 参 加 費 50 円 を 添 えて 各 大 学 の 学 生 班 長 を 経 由 の う え 11 月 15 日 (金) まで に 土 木 学 会 関 西 支 部 へ お 申 込 み 下 さ い。

(3) 第13回学生見学会 (名神高速道路, 琵琶湖大橋見学会)

1. 期 日: 1963年12月7日(土)
2. 見 学 先: 名神高速道路, 琵琶湖大橋
3. 参加者資格: 土木学会学生会員 (ただし申込期日までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正会員も有効)
4. 集 合: 12月7日12時45分までに京都大学土木教室前 京都市左京区吉田本町
5. 行 程: 京都大学発(13.00)~京都南インターチェンジ(13.30)~栗東インターチェンジ間, 見学(14.30発)~琵琶湖大橋見学(15.00~16.00発)~京都駅着解散(17.00)
6. 参加費: 50円
7. 定 員: 150名
8. 申込期限: 1963年11月22日(金)
9. 申込要領: 参加希望者は学校名および氏名を明記のうえ参加費50円を添えて各大学の学生班長を経由のうえ11月22日(金)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。
10. 定員超過の場合の処理: 申込期限内に定員を超過した時は大学別に員数の割当てをいたしますからお含みおき下さい (学生班長は申込先順位番号を付して一括申し込んで下さい)。

(4) 第6回溶射技術講演会 (新しい溶射技術および用途に関する講演会)

共催: 日本溶射協会・日本機械学会関西支部・日本建築学会近畿支部
協賛: 土木学会関西支部

- 申 込 先: 日本溶射協会 電 大阪(351)6351番 内線418番 大阪市都島区東野田9丁目 大阪大学工学部冶金教室内
1. 日 時: 1963年11月28日(木), 29日(金), 30日(土)の3日間, 9時30分~16時30分
 2. 場 所: 大阪府立工業奨励館 電 大阪(441)4755番 大阪市西区江の子島上の町 市電停 川口町下車東100m
 3. 趣 旨: わが国における溶射技術の適用は防錆関係80%, 機械構造関係20%の割合であるが諸外国では逆の比率であります。これは溶射技術に対する産業界の認識が少ないためであり, この意味から広くPRするための講演, 展示, 実演会を開催致すことになりました。多数のご参加を希望します。
 4. 題目と講師: 第1日(11月28日)

9.40~10.40	① 溶 射 総 論	大阪大学工学部教授 工博 多賀谷正義
10.50~12.30	② 金 属 溶 射	大阪府立大学工業短期大学部教授 工博 美馬善文
13.30~14.10	③ セ ラ ミ ッ ク	通産省工業技術院大阪工業技術試験所技師 加藤健
14.20~15.20	④ 自 溶 合 金	関西鉄鋼短期大学教授 工博 伊佐重輝
15.30~16.30	⑤ プ ラ ス チ ッ ク	慶応大学工学部教授 工博 武井武
 - 第2日(11月29日)9.30~16.30
各種工業への溶射の応用——使用者側の意見——近畿地方建設局, 外数団体
スライド: アルミニウムの陽極酸化, 溶融亜鉛メッキ
 - 第3日(11月30日)

9.30~10.30	質 疑 応 答
10.30~12.30	実 演
 5. 定 員: 150名
 6. 聴 講 料: 無 料
 7. 教 材: 1500円(当日拝受)
 8. 聴講申込期限: 1963年11月25日(月)
 9. 申 込 方 法: 参加希望者ははがきに「第6回溶射技術講演会」と題記, 住所, 勤務先所属部課名所在地, 通信先および氏名を明記のうえ上記日本溶射協会へお申し込み下さい。
参加決定者には聴講券をお送りしますから来聴の際はご持参下さい。

(5) 昭和38年度関西支部年次学術講演会

(1963年11月10日(日)詳細は学会誌10月号をご覧ください)

(6) 構造工学に関する講習会

(1963年11月29日(水), 28日(木)の3日間)詳細は学会誌を10月号をご覧ください。